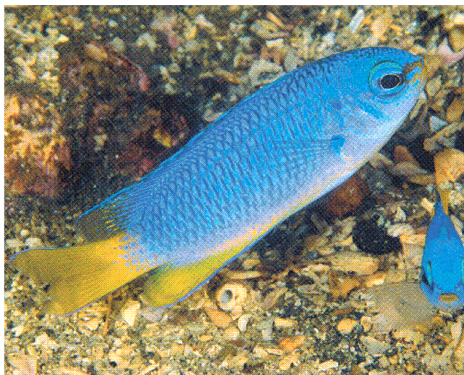




㊦ソラスズメダイの群れ㊦体は青色、尾びれは黄色のソラスズメダイ

ソラスズメダイ

学名 *Pomacentrus coelestis*

分類 スズキ目スズメダイ科
 大きさ 8センチ
 分布 千葉県・新潟県以南、南西諸島、台湾
 食べ物 動物プランクトン
 特徴 磯場や川などから転がってきた石がある転石帯や、サンゴ礁の浅瀬で群れて暮らす。体色は青色で尾びれ付近が黄色い。興奮すると黒ずむ。産卵期の雄は体が黒ずみ、雌の目の前で勢いよく下に向かって泳いで、アピールする。

屋久島以南では、ルリスズメダイと交ざるが、尾びれが黄色いことで見分けられる。スズメダイ科の分布の中心は南西諸島だが、ソラスズメダイは温帯にも適応し、西日本の太平洋側でよく見られる。

産卵期の雄は大忙し

夏休み潮だまりで小さな青い魚を捕まえた人はいま、鮮やかなコバルトブルーの体色で尾びれが黄色い魚がたくさん泳いでいたら、おそらく「ソラスズメダイ」で、夏はソラスズメダイの産卵シーズン真っ盛り。この時期になると、ひれがボロボロになる。防波堤の上から青い魚が群れる姿を見られるのは、南国鹿児島ならではです。

夏はソラスズメダイの産卵シーズン真っ盛り。この時期になると、ひれがボロボロになる。

なった雄が多くいます。産卵期の雄は、群れから離れて石の下に巣を作ります。石の下では、天井を口でつつき一部分をきれいにします。準備が整うと雌を巣に誘います。雌は雄が掃除した場所におなかをつけて卵を1000粒ほど産み付けます。産卵すると雌は出て行きます。

すが、雄の仕事はこれから。口やひれで卵をあおいで新鮮な海水を送り、死んだ卵はすぐに取り除きます。卵を狙う敵が近づいてくるので、外の警戒も怠りません。巣を出たり入ったり、せわしなく泳ぎます。

数日後、太陽が沈んで暗くなった時間に孵化が始まります。雄の最後の仕事は孵化を促すこと。卵をひれであおぐたびに、赤ちゃんが次々と泳ぎだします。雄は、翌日には次の産卵に備え、再び掃除を始めるのです。

こうした雄たちの奮闘によって、今の時期は生まれたばかりの子どもたちの大群があちこちで泳いでいます。鹿児島ではまだ海遊びを楽しむことができます。青い魚を見つけてに出かけませんか。(展示課)

魚類展示係・柏木由香利

おもしろ生き物図鑑
 かごしま水族館から